

個別の追加問題提起

令和3年1月21日

柳川範之

令和3年前半の検討課題について

- Ⅰ 世界経済は構造変化のスピードを速めており、経済を維持していくためには、抜本的な改革が不可欠。ビジネスモデルの転換や新産業創出に向けた資源移動の促進を、全体パッケージの政策として、強く押し進めていく必要。

規制改革

企業の業態・事業転換支援

創業支援

大胆なスキルアップ支援。それを通じた、人材移動の促進

- Ⅰ セミマクロデータやリアルタイムに近いデータの把握・分析
より詳細なセミマクロの、しかもリアルタイムに近いデータをきちんと把握しながら、経済政策運営を行うことが、世界では今後主流になっていく。国際的なマクロ政策協調を行う上でもこの点の重点化は不可欠
- Ⅰ 大胆なコロナ対策を行うためにも、将来の財政健全化の道筋を明確に
2022年度予算におけるワイズスペンディングの徹底。
将来最悪の事態が生じた場合でも健全化が実現できるプランの作成

医療提供体制の確保に向けて

- Ⅰ 当面の喫緊の課題は、感染症患者を十分受け入れられる体制を早急に確保し、療養先調整者を解消すること。そのためには、病床・人員等供給拡大に対する、今までにない大胆なインセンティブ措置を早急に講じるべき。
- Ⅰ 機動的・柔軟な入院調整のためにも、国と地方の間の責任分担・役割分担・情報共有ルールを早急に明確化すること。
- Ⅰ 最悪の場合を想定した、実効性のある具体的な業務継続計画(BCP)の策定。
- Ⅰ 必要なワクチンが迅速かつ的確に供給されることは、国民の安心にとっても極めて重要。そのための体制づくりと実効性の確保、適切な情報発信が重要。